

平成11年度試験研究成果

区分	普及	題名	品種	スイートコーン「味来390」
<p>[要約]</p> <p>スイートコーン黄色系品種「味来390」は、果実が小さく出芽率がやや劣るという特徴があるものの、「キャンベラ86」以上の甘み、果皮の軟らかさを持つ食味良好な品質を有している。</p>				
キーワード	スイートコーン	品種	味来390	県北農業研究所 産地育成研究室

1. 背景とねらい

最近のスイートコーン品種の市場及び県内産地の品種動向を見ると、モノカラー系の黄色品種に注目が集まっている。この理由として、これまで、黄色系品種が持っていた果皮が硬い等の食味上の欠点を持たない良食味の品種が各種苗会社から市販されるようになったことが上げられる。

そこで、本県の条件に適応した食味の良い品質良好なスイートコーン黄色系品種について、その特性を紹介する。

2. 技術の内容

(1) 来歴

ア 1995年に「(株)パイオニア ハイブレッド ジャパン」社において米国で交配された有望系統から日本国内で選抜を行う。

イ 1996年に国内で「味来390」として試作栽培が行われる。

ウ 1997年にF1品種「味来390」として市販が開始される。

(2) 特性概要

ア モノカラー系の黄色品種である。

イ 出芽率及び初期生育は、「キャンベラ86」、「キャンベラ90」と比較しやや劣る。

(表1)

ウ 熟期は、中早生で「キャンベラ86」と同程度である。(表2)

エ 雌穂調整重は、「キャンベラ86」、「キャンベラ90」に比較し小さいが、平成11年に設定された「味来」規格(岩手県標準出荷規格)をあてはめれば、L級以上の比率並びに可販収量は、「キャンベラ90」と同程度である。(表3、表4、表5)

オ 糖度は、「キャンベラ86」以上で「キャンベラ90」並またはそれ以上である。(表4)。また、食味調査の結果から甘みが強く、果皮の軟らかい品種で、食味は「キャンベラ86」以上である。(表6)

(3) 品種育成元

(株)パイオニアハイブレッドジャパン

3. 普及上の留意事項

ア 栽培は、スイートコーン黄色系品種の慣行栽培方法に準ずる。

イ 出芽率が低いことから、播種期を厳守し、播種粒数は3粒/穴とする。また、初期生育を確保するためマルチ栽培を基本とし、早めにマルチを張り地温の上昇に努める。

4. 技術の適応地帯

(1) 適応地域 県下全域

(2) 適応作型 高冷地 5月中旬～6月中旬播種(マルチ直まき)

平坦地 5月上旬～7月上旬播種(マルチ直まき)

(3) 普及見込み面積 150ha

5. 当該事項にかかる試験研究課題

野菜2-1-(3)-A地域特性に優れた品種の選定(ア)スイートコーン

6. 参考文献・資料

岩手県農業研究センター県北農業研究所平成10年度試験成績書

7. 試験成績の概要

表1 生育調査結果

品種名	出芽率 (%)	播種30日目	
		草丈	葉数
キャンベラ86	92.6	32.6	5.7
キャンベラ90	90.9	25.6	5.3
味来390	82.4	21.2	5.7

調査H11.6.11  
単位：cm、枚

表2 生育期調査結果

試験年次	品種名	出芽揃い期 (日)	雄穂抽出期 (日)	雌穂抽出期 (日)	収穫期 (日)
H10	キャンベラ86	12	59	71	95
	キャンベラ90	13	60	79	102
	味来390	13	58	72	97
H11	キャンベラ86	8	60	73	91
	キャンベラ90	9	61	74	92
	味来390	9	56	72	91

表3 収穫期調査結果

試験年次	品種名	草丈 (cm)	雌穂着穂高 (cm)	分けつ数 (g)	地上部重 (g)	雌穂調整重 (g)
H10	キャンベラ86	199.6	50.2	3.3	1593.5	409.5
	キャンベラ90	231.6	73.1	2.3	1716.0	353.0
	味来390	183.7	42.7	2.7	1387.5	345.5
H11	キャンベラ86	217.3	63.1	2.7	1302.0	407.3
	キャンベラ90	233.5	80.9	2.7	1472.5	376.5
	味来390	205.1	62.8	3.2	1201.8	351.3

表4 果実調査結果

試験年次	品種名	むき身重 (g)	雌穂長 (cm)	雌穂径 (cm)	粒列数 (列)	先端不稔長 (cm)	糖度 (brix%)
H10	キャンベラ86	265.0	19.9	4.8	16.9	0.6	14.2
	キャンベラ90	245.8	20.7	4.7	17.1	0.1	16.5
	味来390	223.0	19.8	4.6	15.3	0.8	16.9
H11	キャンベラ86	299.8	20.2	5.0	18.4	1.7	15.2
	キャンベラ90	253.5	20.2	4.8	17.0	1.6	17.0
	味来390	252.0	19.2	4.8	15.6	0.6	16.7

表5 収量調査結果

試験年次	品種名	出荷規格割合 (%)					L以上比率 (%)	可販収量 (kg/a)
		3 L	2 L	L	M	外		
H10	キャンベラ86	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	100.0	122.7
	キャンベラ90	0.0	5.0	30.0	40.0	25.0	35.0	81.0
	味来390	0.0	0.0	25.0	70.0	5.0	25.0	91.9
	<b>*味来390</b>	-	<b>55.0</b>	<b>40.0</b>	<b>5.0</b>	<b>0.0</b>	<b>95.0</b>	<b>96.7</b>
H11	キャンベラ86	0.0	35.0	55.0	10.0	0.0	90.0	135.6
	キャンベラ90	0.0	5.0	80.0	10.0	5.0	85.0	119.1
	味来390	0.0	0.0	55.0	20.0	25.0	55.0	87.9
	<b>*味来390</b>	-	<b>55.0</b>	<b>30.0</b>	<b>15.0</b>	<b>0.0</b>	<b>85.0</b>	<b>116.9</b>

出荷規格：H5年設定県標準出荷規格「とうもろこし」。\*はH11年に設定された県標準出荷規格「とうもろこし(味来)」に基づいて区分した。

表6 食味調査結果

品種名	果実外観	甘み	果皮の軟らかさ	総合評価
キャンベラ86	3.00	3.00	3.00	3.00
味来390	3.27	3.81	3.78	3.78

各項目ともキャンベラ86を3とした場合の5段階評価の平均

表7 岩手県標準出荷規格「とうもろこし」と「とうもろこし(味来)」の比較

計量区分	「とうもろこし」1本重量(g)	「とうもろこし(味来)」1本重量(g)
3 L	500 g以上	-
2 L	420 - 500	350 g以上
L	360 - 420	300 - 350
M	320 - 360	250 - 300